

らぶ Sports@

スポーツを愛する市民の運動情報誌
 8/11号
 毎週水曜日発行
 いわき民報

キャッチボールで心の交流 親子キャッチボール教室

好スコアを目指して

日立市・いわき市TBG親善交流大会

親子のコミュニケーションを目的に開かれた
 キャッチボール教室。いわきグリーンスタジアムを会場に、ほほえましい親子のキャッチボールが繰り広げられた

真夏の団体戦 白熱!!
 オレンジカップ

challenge!
 2010

常磐軟式野球スポーツ少年団

瀬古、そして佐々木七重。オリンピック ランナーの姿があった思い出深い大会



第2回いわきサンシャインマラソンのスタートまで200日となった7月28日、市役所東分庁舎前のカウントダウンがスタートした。今年は種目数32、定員6400人での開催。9月1日から募集が始まる。

青梅マラソンの思い出

1981年2月の青梅マラソンは思い出深い大会です。過去3回参加し、この年で4回目。メインレースは30キロで、参加者が1万人を超える日本一のマンモス大会です。現在ではこの距離は少なくなりましたが、一大決心が必要なフルマラソンに比べると、「この距離ならば」と気軽な気分で参加できるロードレース。非常に人気が高く、会場はお祭り騒ぎです。

この年の参加目的は、後輩の女子高校生2人の卒業記念の支援。「先にゴールして記念撮影でも」という先輩意識での参加でした。練習不足が気になりましたが、「雰囲気で行けるだろう」といつものペース思考。後輩はランルン気分です。スタート前、聞き覚えがあるアドバイスをします。「無理なペースで行くな」とか、「給水をしつかり」とか、「2人でリズムをつくって走れ」とか。単純なゼッオリーばかりです。ちなみにゼッケン(現在陸上競技ではナンバーカードと表現します)は3人ばらばらで、私が2000番台。2人はさらに後方のようでした。

正午、モンモンと列が動き出す。スタートです。そのまま流れに身を任せます。走り出せるまでの時間がやたらと長く感じたことが思い出されます。走り出せば、これだけ多くのランナーがいるのですから集団効果が生まれます。同じようなペースの人を見付けたり、遅いランナーを1人、2人と抜きながらリズムをつかみます。しかし、まだまだ七夕祭りの中を走っているようで、もがきます。2、3キロまで来ると、やっとレースモードに切り替わります。幸い体調はいいようだ。それにウェザーコンディションも良かった。レースは淡々と進み、折り返しを越えてきた。トップを走るの見えるようになりました。トップは、あの瀬古選手(SB食品)集団を引き離しての独走でした。瀬古選手はオープン参加で走っていました。彼は、なぜこの大会を走ったのか分かります。理由が、そこにはありません。1980年のモスクワオリンピックを日本はボイコットしました。幻の男子マラソン代表は瀬古、宗茂、宗猛。写真撮っておきました。なんてことになってしまったら。もう立ち上がれません。ゴール後、予定通りにカメラを持って後輩の帰りを待っていました。

そして、この年のレースで欠かさない選手がもう1人います。日本最高タイムをマークした佐々木七重選手。盛岡で高校教師をしていた彼女は、1時間51分台をたたき出しました。この年の4月、SB食品に進んで数々の結果を残し、瀬古選手とともに1984年のロスオリンピックのマラソン代表にまで登り詰めました。



Happy ランニングスタイル 第5回

小山内孝光の

おさない・たかみつ 平生まれの59歳。ふくしま駅伝の本市チーム監督を12年務め、6連覇を含む7度優勝。湯本高の長距離コーチとして実業団ランナーを育てている。いわき陸協常任理事。

歴史に残る一夜だった。巨人の一軍が初めていわきで公式戦を行った7月6日。いわきグリーンスタジアムには1万7821人の観衆が詰めかけた。シャトルバスが球場目掛けてひっきりなしに走り、おびただしい数のタクシーが集結。球場内には歴史に残る一日となった。巨人の一軍が初めていわきで公式戦を行った7月6日。いわきグリーンスタジアムには1万7821人の観衆が詰めかけた。シャトルバスが球場目掛けてひっきりなしに走り、おびただしい数のタクシーが集結。球場内には歴史に残る一日となった。

記者時評

らぶSpo

歴史に残る一夜に見た誇り

ライナーが左翼席に突き刺さると、球場はこが代走で起用された。つまった。劇的な勝利

マチックなものだった。で、巨人一色だった。3点を追いかける7回、日は曇を閉じた。2死者なしからの大逆転。ラミレスの弾丸、観衆が沸いた場面

ライナーが左翼席に突き刺さると、球場はこが代走で起用された。つまった。劇的な勝利

存在価値を高めたといふことを期待したい。その再会を心待ちにしている。

情報くりっく

- 【15日】第26回江名地区親善軟式野球大会(小名浜球場) 第34回バスケット祭り(小川中体育館)
- 【16日】第16回いわきバスケットボールフェスティバル(磐城桜が丘平商業、いわき総合、湯本高体育館) 17、18日
- 市サンシャインカップ争奪サマー大会高校男子・女子バレーボール大会(湯本、磐城一高体育館) 17日
- 【参加者募集】第2回いわきサンシャインマラソンが来月2月13日に開かれる。9月1日から参加者を募集する。
- 種目と定員は、フルマラソン(42・195キロ、2009日本陸連登録者一般男女)が4000人で、10キロ(一般男子、一般女子、高校男子)が1200人、5キロ(一般女子、高校女子、中学生)が500人、2キロ(3年生以上の小学男女)が300人、2キロペア(小学1・2年の親子)が200組の5種目・32部門となる。
- 参加費はフルマラソンが5000円、10キロ一般男女が3000円、同高校男子が1500円、5キロ一般女子が3000円、同高校女子が1500円、同中学男女が1000円、2キロが1000円、2キロ親子が3000円となっている。
- 参加者募集は9月1日から11月15日までで、先着順となる。申し込みはインターネット(携帯サイト)、専用振替払込用紙で行う。問い合わせは、いわきサンシャインマラソン実行委員会事務局(電話)760711まで。

水曜日の顔

